

ファイル形式アメダス修正報の「まとめ送り」機能について

気象庁が平成20年9月にアメダスの機器更新を開始したことに伴い、大量のアメダス修正報が不定期に配信されるようになりました。このため、当センターでは、送信ファイル数の軽減を目的としてアメダス修正報の「まとめ送り」機能を採用しています。

(1) 概要

気象庁から受信したアメダス修正報を配信システム内に蓄積し、規定の個数または時刻に達した段階で、複数ファイルを1つのファイルに集約し、利用者へ送信処理を行います。集約ファイルを単体のアメダス修正報としてご利用いただくためには、集約ファイル名を識別し、解凍処理を実施していただく必要があります。

(2) 対象データ

- ・アメダス修正報

Z_C_RJTD_YYYYMMDDhhmmss_OBS_AMDSCC_Rjp_N#_bufr4. bin

(ファイル名の詳細は、技術情報 273 号を参照してください)

※アメダス通常報・遅延報については集約は行いません。

(3) 集約ファイルの命名規約

集約ファイルの名称は下記の規則に従って設定します。

Z_C_CCCC_YYYYMMDDhhmmss_DDDD_NNN. send

項目	内容	文字数
Z_C	共通ヘッダ	4
CCCC	「COMP」固定	4
YYYYMMDDhhmmss	集約ファイル作成時刻(年月日時分秒:UTC)	14
DDDD	「OBS_AMDSCC」固定	10
NNN	集約前のファイル数。3ファイルの場合は「003」	3
.tar.gz	集約ファイルの拡張子	7

※拡張子を除く各項目の間には「_ (半角のアンダーバー)」が入る。

- ・単体ファイル名

Z_C_RJTD_20081010000000_OBS_AMDSCC_Rjp_N1_bufr4. bin

Z_C_RJTD_20081010000000_OBS_AMDSCC_Rjp_N2_bufr4. bin



- ・集約ファイル名

Z_C_COMP_20081010001500_OBS_AMDSCC_002. tar. gz

※複数ファイルを「tar」形式で1つのファイルに集約した後に「gzip」圧縮を行います。

(4) まとめ間隔

ファイルを集約するタイミングは、「まとめ個数」および「まとめ時間」に依存し、それぞれ30～100個、5～15分程度を予定しております。この値は可変とし、データの配信状況によって適宜変更する場合がございます。